

包括的な学校改善の推進に向けた校長のマネジメント

| | | | |
|-----|------------|-----|--------------------------|
| 中核校 | 稚内市立稚内南小学校 | 指定校 | 稚内市立稚内港小学校 稚内市立稚内南中学校 |
|-----|------------|-----|--------------------------|

実践前の状況

- ・ 校長が示す学校経営方針について、全教職員へ浸透し切れていなかった。
- ・ 目指す資質・能力の育成に向け、ICT を効果的に活用した授業実践が推進されていなかった。

実践の概要

焦点化を図ったグランドデザインによる学校経営方針の浸透

- ・ 目指す資質・能力を明確に位置付け、学校経営方針とその具体化に向けた手立てと評価基準を示し、学校全体で目指す方向性について共通理解を図った。
- ・ グランドデザインとは別に、「校長として実現を図ること」を作成し、教育課程の改善、学力の確実な定着、学校種間の連携、働き方改革など10項目について、全教職員で取り組むことを具体的に示し、検証改善サイクルを実行した。

指定地域における連携体制の強化

- ・ 本指定事業における中核校、指定校の取組を指定地域内で共有するために、ICT を効果的に活用した授業実践の交流や今年度市で導入した「ロイロノート」の活用に係る研修会を実施した。また、学校事務の共同実施を通じた事務機能の強化を図るため、事務職員間での定期的な情報交換を行った。

実践の充実にに向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

- ・ 重点的な取組事項に係る達成状況を定期的に把握し、教職員と共有するとともに、課題解決の方策についてスケジュールと合わせて具体的に提示した。
- ・ 本事業に関する取組を地域協議会及び学校の Web ページを通じて保護者及び地域住民に伝えることで、指定地域内全体での取組につなげた。

〔事務職員及び専科教員の取組〕

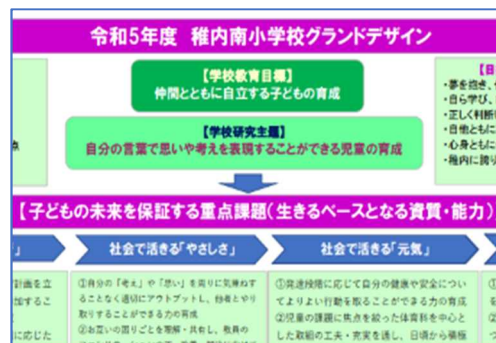
- ・ 理科専科教員及び研修担当教員を中心に ICT を活用した授業実践に取り組み、その成果を指定地域内で共有した。
- ・ 中核校における ICT を活用した業務の効率化の具体を事務職員間で共有し、学校事務の共同実施に向けた取組を推進した。

成果 () と今後の課題 ()

学校改善の手立てを具体的に示し、達成状況を細かく示すことで、全教職員のベクトルをそろえた教育活動を展開することができた。〔学校評価(教職員)の「教職員間で情報を共有し、組織的に学校課題の解決・改善を図っている」の項目では、7割以上ができています、と回答し、前年度より肯定的評価が増加した。(R4:63% R5:75%)〕

指定地域内で研修を行い、目指す授業の具体を共有したことで、授業改善が推進した。〔学校評価(教職員)の「講義型の授業から児童主体への授業への移行・試行が進んでいる」の項目で、前期よりも後期の肯定的評価が高くなった。(R5前期:60% R5後期:80%)〕

目指す資質・能力の育成へ向け、指定地域としてさらに ICT を効果的に活用した授業改善及び教育活動の展開を図る必要がある。



【令和5年度グランドデザインの一部】



【授業動画を視聴した研修会の様子】